

山行記録

乗鞍山麓・五色ヶ原の森、シラビソコース

年月日	2022年10月3日(月)～5日(水)
天気	10/4ハク日、曇り時々晴れ
集合場所・時間	バスハイ、JR 芦屋南 9:00
参加人数	12名(V1名)
歩行時間・距離	(2日目)6時間53分(ガイドの説明時間込み なので5:30ぐらいか)、8.3km
費用	49,000円

コースタイム

10月4日(火)ハク日

出会小屋 7:45～休憩 2回 6分～日雇声(ヒヨコエ) 滝 9:28/9:35～籠尾(カゴオ) 清水 9:48/9:54
～林道へ出る 10:46～わさび平湿原(木道)～岩魚見(イナミ) 小屋、ランチ 11:14/11:47～か
うの木からシラビ沢を下る～シラビソ小屋 13:24/13:35～雄池 14:19～休憩 14:25/14:28～八汐峠
14:47/14:51～横手滝吊り橋 15:25～布引滝 15:32/15:35～出会小屋 15:55

感想

10月3日(月)、曇り

3-4日前から天気予報に一喜一憂、何とかもつだろうとの判断で実施決定。初日はどんよりとした曇り。名神から東海北陸道へ乗り継ぎひるがのSAでランチタイム。目の前には大日岳とスキー場が見える。麓のひるがの高原で水芭蕉を鑑賞し大日岳に登るのも面白そう。宿讎(スナ)の湯という天然温泉の宿のゾヨイル朴の木には14:40到着。ここは目の前がスキー場ゲレンデなので夕食までに時間もあるのでゲレンデ斜面を明日に備えて各自自主トレ。温泉で汗を流した後は夕食とアルコール。美味し楽しですべてよし。

10月4日(火) 曇り時々晴れ

五色ヶ原の森について：北アルプス乗鞍岳の西北に位置し、標高は1300～1900m。ガイド付きでないと入山できない自然保護地域。木々や花々、沢、滝、池と手つかずの自然が残されている。9千年前の乗鞍岳の噴火で流れだした溶岩が固まりスッソツ状の溶岩相が形成され、その上に木々や花々、コケ類が生えて森が形成されている。その溶岩相に雨水、雪解け水が溜まり、一説には100年分が貯まっていると言われていたようで、今湧き出しているのは100年前の水！かもしれないとの事。

今回歩いたシラビソコースの他に花シコースなど全部で6コースある。各コースには山小屋(休憩小屋)が点在しており、温水便座トレ、水場ありと安心してハイクができます。

五色ヶ原の森受付センターに7時集合なので6時より朝食と多忙なるも期待大の1日が始まる。受付センターで手続きの後マイクロバスで本日のスタートの出会小屋へ向かう。1パーティー10人までなので、6人ずつの2パーティー(ガイド2名)に分れて出会小屋を出発。

沢上（ワレ）谷沿いを登っていきませんが、沢水が豊富でゴ-ゴ-と音を立てて流れており、その豪快な水量にビックリ！ 前述の通り 100 年分！と伏流水が豊富なため年中水量はかわらず、このため沢の増水がなく岩のツが剥がれたりすることは無いそうです。

山道に長細いマツボックリがたくさん落ちています。朝鮮五葉松で熊、鳥、リスの大好物。表面の皮を剥がし中の実を食べるそうですが、剥がした皮や中の実の殻が 1 か所にかたまって落ちています。そこで一生懸命食べていたんでしょね。森と生き物の営みが見えてきます。コマガのマツボックリもたくさん落ちています。小指の先大でまだツは開いていません。家に持って帰ってテーブルに置いておくと開きますよとが伊さん。今この記録を書いている机のマツボックリは既にツが開いて親指大になっています。あら不思議！これが木々の生きる力なんでしょうね。溶岩が上に押し出されて固まった溶岩ドームには木々やツが生え人の顔や動物にも見え歩いていても飽きません。岩魚見小屋でランチの後ツバ沢を下ります。そこに大きなカツの木、紅葉が始まると甘い香りを出すそうで、あたり一面に甘い香りが漂っています。ツバ沢の下り始めは枯れ沢ですが、が伊さん曰くあちこちからの伏流水で見る見る内に水があふれますよと。その通りでした。ツバ沢は例えば奥入瀬溪流の如く木と岩とツと溪流の世界、10 回以上も梯子状木道で渡渉しました。ツビツ小屋で途中休憩のあと澄池、濁池、雄池を通りこのコース最大の見せ場、横手滝、布引滝にやってきました。ここでストックはしまうかが伊さんに預けるかで両手をフリーにします。水しぶきに濡れた階段（滑る！）を両端のロープをつかみながら慎重に下りて吊り橋（滑る！）を渡ります。大量の水が落ちるよりも噴き出す感じの横手滝。そして水が何十もの筋となって落ちる布引滝。これは溶岩相の何十もの割れ目から水が噴き出すため、ウソこれにはまいった、絶景かな絶景かな！！布引滝から 20 分で出会小屋に帰ってきました。マイクバスで自動車道に出て貸切バスに乗り換え、今宵の宿舎、高山グリーンホテルに到着。ここも天然温泉でゆっくりと湯につかって疲れを癒し、夕食は高山市内の居酒屋。食べるほどに飲むほどに話がはずみます。

10 月 5 日（水）曇り時々晴れ

朝風呂に入り、朝食は飛騨牛のシャブシャブと豪華！（誰か曰く昨晚の居酒屋より豪華かも）バスで高山祭屋台会館へ。秋の高山祭は 10 月 9 日 10 日と決まっており、秋祭りは屋台が 11 基ですが、そのうちの 4 基が展示されています。装飾が豪華絢爛、印象では祇園祭の山車よりも高山の方が装飾が派手かな。布袋さんのからくり屋台も展示されていました。横の櫻山八幡宮へお参り、良き天気と無事下山を感謝。この後は自由行動でお屋にバス駐車場所に集合。男組は宮川朝市、高山ラーメン&飛騨牛にぎりのご当地ランチ。女性陣はしこたまおいしいものを買物して帰ってきました。

昼過ぎには高山を後にして、往路を戻り芦屋に 17 時頃到着しました。

山はたくさん歩いてきましたが、展望、滝や花々鑑賞と現在目に見える世界を楽しんだり、頂上を目指すことを目的で登ったりでした。今回は一味違って、山、森、沢などの生成、成長、衰退、あるいは森と生き物の関わり合い、倒木、朽木による世代更新など過去～現在～未来という思考で山、自然を見ることができ非常にいい経験が出来ました。

また普段の山歩きでいつも経験する「コンチ挨拶」と「赤牀ッ、赤テープ」が全くなかったこともが伊付き入山エリアならではの経験ですね。楽しい良き有意義な 3 日間でした。以上